

2025年4月、燃料デブリ^{※1}に関する知見を拡げるため、2回目となる「燃料デブリ試験的取り出し作業」が完了しました。 (一連の作業前後で、モニタリングポスト/ダストモニタのデータに有意な変動はなく、周辺環境への放射線影響は発生していません)

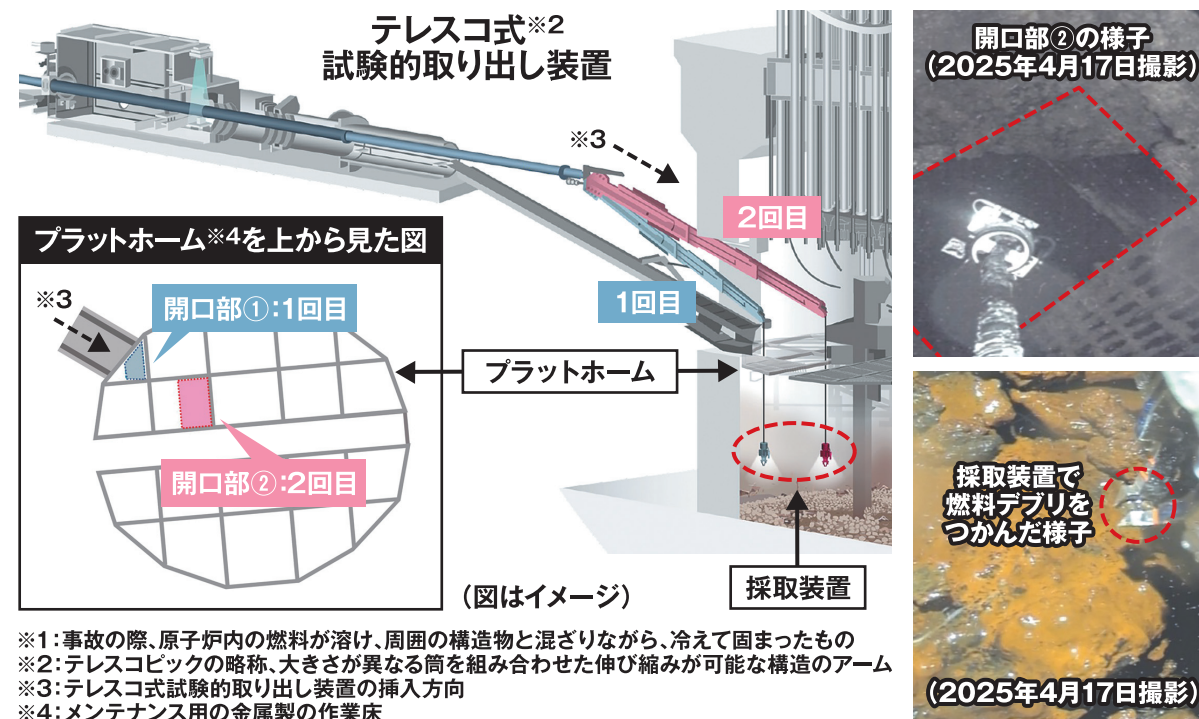
- ▶2024年11月、福島第一原子力発電所2号機において、事故後はじめてとなる「燃料デブリ試験的取り出し作業」が完了しました。
- ▶2025年4月17日、燃料デブリに関する知見を拡げるため、初回の採取位置(開口部①)より更に原子炉格納容器の中心部に近い位置(開口部②)から底部へ採取装置を吊り下ろして燃料デブリを採取しました。
- ▶同年4月25日、採取した燃料デブリは、様々な分析を行うため、機密性の高い輸送容器に格納し、茨城県内の日本原子力研究開発機構(JAEA)研究施設に輸送しました。



作業訓練の様子(2025年3月13日撮影)



燃料デブリを運搬用ボックスに入れて取り出す様子(2025年4月23日撮影)



※1:事故の際、原子炉内の燃料が溶け、周囲の構造物と混ざりながら、冷えて固まったもの
※2:テレスコピックの略称、大きさが異なる筒を組み合わせた伸び縮みが可能な構造のアーム
※3:テレスコ式試験的取り出し装置の挿入方向
※4:メンテナンス用の金属製の作業床



動画アーカイブについてはこちらをご覧ください
▶[2号機燃料デブリ試験的取り出し作業(2回目)について]
https://www.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=107299&video_uuid=15547



燃料デブリに関する情報はこちらをご覧ください
▶[燃料デブリ ポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/fuel-debris/>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶[皆さまのご意見をお聞かせください]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22